

てんかん発作の状況及び対応調査

学部（小・中・高・肢） _____ 年 名前（ _____ ）

○てんかん発作の状況及び対応について御記入ください。

※「スクールバスの乗車に関して、医師に相談し了承を得ている【乗車規定3（6）】」ことが乗車の条件となっています。医師と相談のうえ御記入ください。この用紙と学校での様子を基に、スクールバス委員会で乗車の可否を決定させていただきます。不明な点について、再度確認させていただくこともあります。御承知おきください。

【スクールバス車内での対応について】

- ① 安全な場所を見つけバスを停車させる。（停車まで5分程かかります）
- ② 救急車を要請する。（要請から到着まで10分～20分程度はかかります）
- ③ 見守る。

※バス内では座薬等薬を使用することはできないため、発作が起きた場合は救急車を要請します。その際には、保護者の方にも、バス又は搬送先の病院に向かってもらうことになりますので、バス乗車中は連絡が取れるようにしておくようお願いします。

1、発作の記録

【診断名】

【記録】

	年月	起こったときの状況（要因、環境等）
最初の発作	年 月	例) 高熱が出たときに、大きな音を聞いて、入眠時など
直近で最後の発作	年 月	
※上記以外で発作が起こりやすい状況がありましたら御記入ください。		
発作の頻度		例) 月1回程度、3歳以降起きていないなど

2、発作時の様子（どのような様子が見られたら発作と判断しますか）

3、安全に乗車するための配慮など（環境、配慮、乗車を控える場合など）

＜スクールバス乗車時の状況＞

【乗車時間】 最短で20分、最長で1時間程度（バス停によって異なる）

【乗車児童生徒数】 焼津線、西焼津線、藤枝線、島田線は40人程度、岡部線は25人程度

【バス内の様子】

- ・児童生徒の声や音が断続的にしている。大きな声や泣き声がすることもある。
 - ・1～2人の介助員で、車内の安全を見守っている。
- ※介助員とは、児童生徒が安全に乗車出来るよう離席や、危険な行為、迷惑行為が無いよう見守ったりそれらの行為を止めたりする職員。常時一人を見守り続けることは難しい。